

◆会社の存続を脅かす！自然災害のリスク◆

さて、あなたの会社では自然災害に備えて万全な対策をしていますか？

◆ ----- ◆ 会社の存続を脅かす！自然災害のリスク ◆ ----- ◆

近年の日本では、ほぼ毎年のように台風や豪雨、地震などの自然災害が起っています。
企業でも、従業員が出勤できなかつたり電子機器が使えなくなつたりと被害を受けるケースが後を絶ちません。

2018年7月に起きた西日本豪雨では、中小企業の被害額が4,738億円だったとの報告もありました。
大規模な災害が発生すれば、経営は困難になり、倒産に追い込まれてしまいます。
大切な会社を守るためには、日頃から防災意識を高めておくことが重要です。

しかし「小規模企業白書2019」によると
ハザードマップを見たことがある事業者の割合は、37.3%と、決して高くはないようです。

自分が住んでいる地域のハザードマップは確認していても、
会社周辺のマップを見たことがある人は案外少ないのかもしれない。

自然災害は、いつ発生するか、どれほどの被害を受けるか誰にもわからないからこそ
会社でも十分な対策が求められます。
自宅のみならず、会社の防災対策も是非進めておきたいところです。

企業の災害対策は、
・従業員の安全を確保すること
・被災しても復旧しやすい職場環境にしておくことが、ポイントになります。

実際にある企業では、次のような対策を実行しているそうです。

- 定期的に防災用品の中身を点検する
- 災害時の避難経路を確認する
- 重要なデータはバックアップ先を複数もつ など。



自然災害への対策は取り組んでおいて損はありません。
まずは、自社周辺のハザードマップを確認するなど、すぐにできることから実行してみたいかがでしょうか。
今回の情報を貴社の経営にお役立ていただけますと幸いです。

□■□ -----
編集後記
----- □■□

今回は「自然災害のリスク」についてお伝えしました。
災害により倒産に追い込まれることがないように、日頃からリスクを想定して対策を講じておくことは大切です。

当社も、災害対策の第一歩として全員がハザードマップを確認することから始めてみようと思いました。

最後までお読みいただきましてありがとうございます。
ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。
それでは、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

